



(仮称)遠軽豊里 IC 周辺施設基本計画検討協議会の位置づけ

目的

- 旭川紋別自動車道の「(仮称)遠軽豊里 IC」の設置予定に伴い、同 IC に隣接するロックバレースキー場と一体化した道の駅の整備に向けた基本計画案の策定を行う。

位置づけ

- 協議会の委員は今後道の駅の運営にも関わりが深いことが予想される様々な背景を有する町の機関を代表する方および学識者で構成する。
- この基本計画案をうけて遠軽町が基本計画を策定し、道の駅の設計および今後の運営等の検討に反映させる。

検討内容

- 道の駅の基本計画(コンセプト、機能、ゾーニング など)
- 道の駅とロックバレースキー場の関係(共有する空間・施設 など)

委員などの役割

- 委員:各団体の視点から意見・考えなどを発言する。学識者は専門的見地からアドバイスを行う。
- 座長:議事の整理を行う。座長は委員の互選によって選出する。
- 事務局:協議会の進行・とりまとめ、議論内容の検討・資料作成

その他

- 議論の概要、協議会資料は、遠軽町のホームページ等で公開する。
- 協議会には、設計業務を受諾している組織も同席し、議論の内容を設計に反映させる。また、必要に応じて協議会の中で設計内容について説明することもある。
- 町民の意向を把握するために参加自由のワークショップを開催し、協議会で議論の内容を確認する。
- 道の駅及び周辺施設の運営や使い方について議論する場として、「道の駅及び周辺施設を考える会(仮称)」を設置する予定。専門的に議論を行うために、部会・ワーキンググループなどの設置も考えられる。